

6. 事業内容	<p>1) 「先住民の子どもに優しい学校」づくり</p> <p>(ア) 教育施設整備活動 サンホセ村ダタルサルバン高校2教室の建設と備品整備(椅子と机計100個、教壇2つ、黒板2つ)</p> <p>(イ) 児童会の強化活動 9校において、先住民の児童を代表し、行事を実施したり、児童の意見を学校運営に反映させる児童会をつくりあげるために、児童会運営マニュアルハンドブック作成(児童会の役割、規則、活動内容、運営方法、注意事項、自民族について理解を促進する活動等)の研修を行う。子どもたちが、1年目で完成した「ハンドブック(試用版)」を活用して、児童会を運営することを補佐し、その実用体験をもとに修正して、「ハンドブック(最終版)」を完成させる。実用体験をもとに完成させることで、先住民の文化に適しているか、児童たちが適切に活用できる内容であるかを確認してから最終化することで、事業の持続的効果を高める。 —研修、調査、演劇発表：9校の児童会役員等約45名×7回</p> <p>(ウ) 教員の強化活動 9校において先住民の子どもたちに適した教育が教員によって持続的に行われるように、ハンドブック作成の研修を行う。このハンドブックには、先住民の子どもたちを教える教師たちの指針、先住民についての理解を促進し、先住民の子どもを教える際に注意すべき点、知っておくべき点などが盛り込まれる。1年目で完成したガイドライン(試用版)の実証体験を行うとともに、他先住民地域の教員からのフィードバックをもとに、ハンドブック(最終版)を作成する。 —研修：9校の教員約50名×8回</p> <p>2) 「先住民が文化に根差して持続的に生きていける地域」づくり</p> <p>(エ) 保健環境向上活動 ※CHV(コミュニティヘルスボランティア)：地域保健員 診療所がない地域において、近所の人々が病気やケガの際に駆け込むことができる約30の「家タイプヘルスポスト」(CHVの自宅を利用した保健施設)が日常の疾患に対して適切に対応し、持続的に地域の保健環境を向上させていくために、更なる保健についての知識向上の研修とヘルスポストの設立研修を行う。「家タイプヘルスポスト」を設立したCHVの能力向上研修に加え、修了生によって作られた組織の強化を行う。 —研修：CHV約30名×9回</p> <p>(オ) 生計環境向上活動 先住民伝統文化の再評価と生計向上を目的とした「生計向上グループ」が持続的に生計向上に取り組んでいくために、技術向上と組織化の研修を実施する。生計向上グループは、技術訓練に参加した人を中心に作られる組織で、効率よく生産、販売、マーケティングを行うための約40名による組織とする。「生計向上グループ」の更なる生産及びマーケティング力の向上研修と組織強化を行う。 —研修：住民40名×14回 効果対象人数：直接的裨益者数 約270名 間接的裨益者数 約5,400名</p>
7. これまでの成果、	①これまでの事業における成果(実施した事業内容とその具体的成果)

課題・問題点、対応策など	<p>(ア) 教育施設整備活動：ピアオ小学校 2 教室の建設と備品整備 実施内容：建設工事が順調に進み、予定よりも早く、8 月下旬に完成した。9 月中旬に完成式典を開催し、現地の教育省に校舎の引渡しを行った。 具体的成果：本事業により 100 名以上の児童の教育環境が整えられ、児童対校舎比は、教育省基準外の教室を含め、41 ; 1 へと改善した。これを受けて、通学を断念していた児童の親たちより、次の学期以降、子どもを復学させたいという声があがっており、現地の教育熱の高まりが見られる。また、本事業を通じて、現地では先住民の教育の重要性が見直され、教育省や企業による校舎建設が行われるなど、波及効果が見られる。</p> <p>(イ) 児童会の強化活動 実施内容：現時点までに予定されていた「地域調査」「先住民研修」「児童会の責任と役割研修」「ハンドブック作成研修 1」「ハンドブック作成研修 2」「演劇研修」の 6 つ全てのテーマの研修を終了しており、研修は予定通り進んでいる。 具体的成果：現時点までに「先住民族の文化に適した児童会運営ハンドブック（試用版）」の内容が確定し、2014 年 3 月までに、体裁の取り繕いと校正、他児童への共有も終了する。これまでに、児童会役員は「地域調査」を通して、地域内の未就学児童の把握、ドロップアウト率を調べ、自分達の住む地域における教育環境を把握したり、児童会の役員が低学年の先住民に文字書きを教えるなど、児童会自らが企画する先住民地域の教育環境改善のための活動を開始している。</p> <p>(ウ) 教員の強化活動 実施内容：現時点までに「既存ガイドライン研修」「民族文化研修 1」「地域調査」「民族文化研修 2」「ガイドライン作成研修 1」「ガイドライン作成研修 2」「先住民族の課題研修」の 7 つのテーマの研修を終了した。「先住民族に優しい視覚教材作成研修」「視覚教材作成実施」の研修についても 2014 年 3 月までに終了見込みで、研修は予定通り進んでいる。 具体的成果：現時点までにガイドラインに記載する内容がほぼ確定し、研修や地域調査を通して学んだ先住民文化を組み込んだ教育方法が教師によって特定されている。2014 年 3 月までに、「先住民族の子ども向けの教育ガイドライン（試用版）」が校内で共有される見込みである。教師の中には、授業の空き時間を利用し、先住民の伝統的な歌の歌詞を子どもたちに教えたり、伝統的な踊りを授業の中で披露する場を設ける等、自ら考え、先住民の文化を組み込もうとする行動の変化が見られている。</p> <p>(エ) 保健環境の向上活動 実施内容：現時点までに予定されていた「東洋の薬研修」「保健師の役割研修」「ヘルスポスト研修 1」「栄養改善研修」「女性の健康と権利研修」「リーダーシップ研修」「ヘルスポスト研修 2」「メディカルミッション」の 8 つ全てのテーマの研修を終了した。 具体的成果：これまでに研修に参加した地域に住む女性たちは、研修で学んだ下痢の対処法を自身の子どもに実践したり、地域で採取可能な薬草を加工処理して、咳や熱などの疾病に対処したりするなど、基礎的な疾病の対処法の知識を習得している。研修を通じて学んだ保健衛生に関する知識を活用し、研修参加者が自主的に「デング熱の予防」「下痢の対処法」をテーマにした保健教育を実施する等、保健師の主体性と保健環境向上に対してのコミ</p>
--------------	--

ットメントが高まっている。

現時点までにヘルスポスの意義が参加者間で共有されるとともに、問診や記録方法についての練習が行われている。「メディカルミッション」での実地研修では、医師や看護師とともに地域を回り、問診、応急処置、症状の記録、疾病に対する処方などを実践し、約 80%の参加者が医師や看護師の助言なしで適切な対応をすることができた。

2014 年 3 月までに、「家タイプヘルスポス」が設立され、患者に活用され始める見込みである。また、サンホセ村の保健所への紹介システムを構築し、対処困難な患者は適切な医療機関に紹介されることになる。

(オ) 生計環境の向上活動

実施内容：現時点までに予定されていた「アクセサリーづくり研修 1」「基礎組織化研修」「基礎記帳研修」「裁縫と刺繍研修 1」「籠づくり研修 1」「裁縫と刺繍研修 2」「組織能力向上研修」「籠づくり研修 2」「農業研修」「アクセサリーづくり研修 2」「起業研修」「マーケティング研修」の 12 つ全てのテーマの研修を終了した。

具体的成果：現時点までに参加者は、竹を編んだ籠、ビーズを使用したネックレス、プレスレット、イヤリング、そして先住民の伝統的なデザインの衣服や財布等を作成できるようになるとともに、原価計算や収支台帳の記録方法を習得している。フェーズ 1 より継続して生計向上研修を実施しているブラガン地区の生計向上グループは、独自で考えたビーズを使用したトカゲのキーホルダーを作成し、既に販売を開始できるほど伝統工芸品の作成技術が向上している。2014 年 3 月までに、研修受講者対象調査で、品質向上や販売に対する知識が研修前より増加していることが確認され、商品の販売を開始できる見込みである。

②これまでの事業を通じての課題・問題点

順調に進んでおり、現時点において特段の問題点は見受けられない。

③上記②に対する今後の対応策

本期間は、これまでの活動の集大成として、児童や教師の研修、また保健や生計向上の研修において、「持続的なシステム作り」がテーマとなるため、各々の研修において、以下のように対応して持続性を担保する予定である。

児童会研修では、作成したハンドブックが現地の教育省に正式に承認されるとともに、教育省が、各学校の児童会の運営状況をモニタリングしていく体制を構築する。教師研修においても、児童会研修と同様に、作成したガイドラインが現地の教育省に正式に承認されるとともに、教育省が、各学校の児童会の運営状況をモニタリングしていく体制を構築する。保健研修では、各地域にヘルスポスを設置した後、村の保健所や市内の保健所とのネットワークを形成して、紹介システム（対応困難な疾病の際、適切な医療機関に患者を紹介するシステム）を構築する。地域内の保健師の組織に、村や市レベルの医療機関とのネットワークの形成を促すことで、持続性を担保する。生計研修では、住民組織を強固にしていくとともに、政府機関に登録を行う。販路の拡大を行うことで、多様な収入源の確保を目指す。